
0020. 口座複数利用可能者登録

業務コード	業務名
UKZ	口座複数利用可能者登録
UKZ12	口座複数利用可能者登録（強制入力）

1. 業務概要

(1) 口座複数利用可能者登録の場合

特定の1つの口座を使用して、同一の会社で関税等の納付を行いたい場合に、当該口座を使用したい通関業等の利用者コード（5桁）を登録する。

(2) 口座複数利用可能者登録（強制入力）の場合

口座複数利用可能者登録を行い、強制入力待ち*¹となった場合は、本業務で強制的に口座複数利用可能者を登録する。

（*1）強制入力待ちとは、入力者と異なる法人に属する口座利用可能者が入力された（入力者の利用者コード（5桁）下3桁と入力された口座利用可能者の利用者コード（5桁）下3桁が一致しない）場合に、注意喚起を行っている状態である。この場合、「処理種別」欄に「F」を入力しない限り、口座利用可能者の登録は行えない。

2. 入力者

通関業、船会社、船舶代理店、輸出入者

3. 制限事項

- ① 1口座番号に対して、登録可能な口座利用可能者は最大40件とする。
- ② 輸入者口座の登録は実施できないこととする。
- ③ 入力された口座番号に対する口座利用可能者に輸出入者コードまたは法人番号が存在すれば、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 口座DBチェック

- ① 入力された口座番号が口座DBに存在すること。
- ② 入力された口座番号の口座名義人が入力者であること。
- ③ 入力された口座番号の口座名義人が輸出入者コードまたは法人番号でないこと。

(4) 利用者DBチェック

入力された口座利用可能者の利用者コード（5桁）が利用者DBに存在すること。

(5) 口座利用可能者DBチェック

- ① 入力された口座番号と口座利用可能者の利用者コード（5桁）が口座利用可能者DBに存在しないこと。
- ② 入力された口座番号の口座利用可能者DBが40件を超えていないこと。

(6) 強制入力チェック

口座複数利用可能者登録（強制入力）で「処理種別」欄に「F」の入力がない場合、強制入力待ちとする。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 口座利用可能者DB処理

(A) 登録の場合

入力された口座番号と口座利用可能者の利用者コード(5桁)を登録する。

(B) 削除の場合

入力された口座番号と口座利用可能者の利用者コード(5桁)を削除する。

(3) 口座複数利用可能者情報編集処理

口座利用可能者DBより編集処理を行う。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
口座複数利用可能者情報	UKZ業務またはUKZ12業務で強制入力待ちとならなかった場合	入力者
口座複数利用可能者強制入力情報	UKZ業務で強制入力待ちとなった場合	入力者

7. 特記事項

CSFオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。(規制時間帯は別途定めることとする)